

学会ホームページ <http://jasce.jp>

## 065号 (2022年4月17日)

### 目次

第18回全国大会の概要  
臨時総会のお知らせ (事務局より)  
会員情報の変更届  
年会費納入のお願い  
学会役員選挙について  
『協同と教育』への投稿募集中  
「オンライン・一日研修」報告  
第3回「オンライン講座」報告  
2022年度学会ワークショップの予定  
各地の研究会・勉強会  
出版情報

### 第18回全国大会の概要

第18回大会を2022年10月29日(土)～30日(日)にオンラインで開催します。本大会では「これまでの学び、これからの学び」をテーマに、教室内での学びだけでなく、学校の枠組みを超えた学びや個別最適な学びも視野に入れ、協同教育のこれからの可能性を探っていきたいと思います。1日目午後にはテーマを深める記念講演を開催する予定です。みなさまの参加をお待ちしています。

#### 1. 大会テーマ

「これまでの学び、これからの学び」

#### 2. 大会日程

1日目: 2022年10月29日(土)

2日目: 2022年10月30日(日)

#### 3. 開催方法

Zoomを用いたオンラインで開催します。オンライン・ミーティングへの参加情報は大会参加申込み後にご連絡します。

#### 4. 発表形式

口頭発表(研究発表と実践報告の2タイプ、発表20分質疑10分)

ラウンドテーブル(120分。ただし90分・180分も設定可能)

ワークショップ(120分。ただし90分・180分も設定可能)

#### 5. 発表申込募集期間

開始日 2022年4月25日(月)

締切日 2022年7月11日(月)

大会で発表できるのは、令和4(2022)年度までの会費完納者に限ります。今年度の会費未納の方は発表要旨の原稿提出までに納入をお済ませください。

非会員の方が新たに会員となり発表を申込み場合は、7月7日(木)までに入会申込みと年会費入金が完了している必要があります。

#### 6. 発表要旨原稿受付

開始日 2022年4月25日(月)

締切日 2022年7月29日(金)

#### 7. 参加申込期間

受付開始日 2022年4月25日(月)

受付締切日 2022年10月14日(金)

大会参加には事前の申込が必要

です。当日の受付はできません。ご注意ください。大会参加費とその振込口座については学会ホームページで別途お知らせします。(年会費の振込口座とは異なります。)

#### 8. 大会参加者専用サイト

参加者専用のサイトを開設します。

#### 9. 大会に関する問合せ先

日本協同教育学会大会実行委員会  
〒470-0207 愛知県みよし市福谷町西ノ洞21番地233 東海学園大学 水野正朗研究室内

E-mail: [taikai@jasce.jp](mailto:taikai@jasce.jp)

お問い合わせはE-mailでお願い致します。件名に「日本協同教育学会第18回大会」の文言を入れてください。

第18回大会実行委員長 水野正朗

### 臨時総会のお知らせ (事務局より)

通信による臨時総会を4月下旬に行います。

今年度は夏に役員選挙が行われますが、それに先立ち、役員選挙管理委員会規程の一部修正について会員の皆様にご審議いただきます。審議事項は会員メーリングリストを使って配信いたしますので、受信されましたら指示に従って可否の意思表示をよろしく願います。

# JASCE

## 会員情報の変更届

年度がわりの異動や転居などにもなって、所属・住所・メールアドレス等の変更があった場合、すみやかに会員情報変更をお願いします。届け出は学会ホームページの「会員情報変更フォーム」から随時可能です。  
(<https://www.jasce.jp/php/1044form.php>)

## 年会費納入のお願い

本年度の年会費5,000円の納入をお願いいたします。以下の口座に振り込んでください。3年度を超えて年会費が未納となった場合、自動的に退会扱いとなりますのでご注意ください。

### ◇銀行振込の場合

金融機関名 ゆうちょ銀行

支店 ○一九

口座番号 (当座) 0315442

名義 日本協同教育学会

◇郵便局で「振込取扱票」をお使いの場合

口座記号・番号

00100-8-315442

加入者名 日本協同教育学会

## 学会役員選挙について

2022年度は、学会役員の3年の任期が満了することに伴い、役員選挙を実施します。6月頃に投票期間を設けて、まずは得票上位10名の理事を選出する予定です。投票は会費納入済みの個人会員に限られますので、4月中の年会費納入をお願いします。なお詳細については、別途ご案内をいたします。

## 『協同と教育』への投稿募集中

『協同と教育』への投稿を随時受け付けています(第18号以降の掲

載予定)。投稿受理から査読を経て採択が決定されるまでに通常数ヶ月以上を要します。みなさまの積極的な投稿をお待ちしております。

## 「オンライン・一日研修」報告

2022年2月12日(土)にオンライン「一日研修」を開催しました。一日研修とは、「協同学習の基礎的な考え方や技法を学びたいと考える方への導入プログラム」です。これまでは、すべて対面による実施であり、オンラインによる開催は初めてでした。研修委員会としては「オンライン・ベーシック」実施に繋げるため、広く意見を求めたいという意図もありました。

講師は、安永悟先生(久留米大学、日本協同教育学会 会長)、主な内容は、①導入・学びの場づくり、②協同学習の基本技法、③協同学習の考え方と効果、④授業づくりの留意点、⑤振り返り・まとめ、でした。4名グループで活発な話し合いがなされ、全体交流では質問や意見も飛び交いました。協同学習で頻繁に使う技法「ジグソー」と「特派員」も体験的に学ぶことができました。

受講者は39名(会員23名、一般16名)、スタッフは研修委員8名と学会認定トレーナー5名が務めました。受講生や学会認定トレーナーからいただいた貴重な意見をもとに、研修委員で検討を重ね、「オンライン・ベーシック」開催に向けて邁進いたします。

問い合わせ先: 研修委員会  
([kenshu@jasce.jp](mailto:kenshu@jasce.jp))

## 第3回「オンライン講座」報告

2022年2月26日(土)に第3回「オンライン講座」を開催しました(写真)。参加者は会員31名と未会員5名の36名でした。

今回は、「日本の協同学習(日本協同教育学会編、ナカニシヤ出版)」の「第2章 個集研と協同学習」を執筆された高旗浩志先生(岡山大学)を講師としてお招きしてご講演いただきました。そしてご講演に基づいて参加者は小グループで2度活動を行いました。今回は、高旗先生から事前に考える素材が提供されており、グループ内でそれぞれの考えを共有する過程でテーマについての認識が深まったようです。参加者からは、「学



# JASCE

校における集団と個人の関係性について改めて考えました。」や「個を育てなければ、集団は完成しないということを再度念頭に日々学生に関わっていきたいと思います。」「『捨てさせる』話し合いではなく、『重ねあい、練り上げる』話し合いを試みていきます。」といった感想が寄せられました。

今回の第4回「オンライン講座」は、6月4日(土)に「第3章 アメリカの協同学習理論の受容と融合—協同学習ワークショップ教材作成の舞台裏—」を執筆された関田一彦先生(創価大学)を講師としてお招きして開催する予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

問い合わせ先: 研修委員会  
(kenshu@jasce.jp)

## 2022年度学会ワークショップの予定

現時点で、実施日等の決定している分のみお知らせいたします。その他のワークショップにつきましては、状況が整えば対面で実施する予定です。

### <ベーシック>

2022年8月27日(土)～28日(日)  
【公認(南山ワークショップ)】

### <アドバンス>

2022年11月26日(土)～27日(日)  
【公認(南山ワークショップ)】

\*会場および講師については別途ご案内する予定

\*実施3か月前に、全国的に「緊急事態宣言」が発令されていないことが実施条件

## 各地の研究会・勉強会

(大阪地域)

### 協同学習を用いた看護教育研究会

◇今回は、2022年1月と3月に開催した研究会についてご報告致します。

◇1月開催の報告(企画・運営: 関西地区 担当者: 卜部絃子・重年清香・堀川真知子)

第41回目は、LTD-NP開発者の石田裕久先生にご出席を賜り、テーマ「協同学習(LTD-NP)を用いた臨地実習の最終カンファレンスの方法」のもと、2022年1月29日(土)14:00～16:00にオンラインで開催しました。34名の方にご参加いただき、日本協同教育学会会長の安永先生も今回のテーマに関心を寄せて下さりご参加くださいました。

卜部絃子先生の司会進行により、LTD学習法とLTD-NPのミニレクチャー(重年清香)のあと、堀川真知子先生に、実践事例「母性看護学実習におけるLTD-NPを用いた最終カンファレンス」について、ご発表いただきました。ブレイクアウトセッションを4回組み入れ、参加者の理解の共有と意見交換、実践報告への質

問や取り入れたい点など全体で共有しました。石田先生と安永先生からは、LTD学習法やLTD-NPを臨地実習に応用する際の工夫点など、貴重なご指導をいただき全体共有しました。参加者からは、実践報告や意見交換を通してLTD-NPの理解が深まった、臨地実習で活用するイメージができ実践に活かしたいと思った、LTD-NPのステップを実習に工夫できそうだ、など力強い意見がありました。今回の研究会を通して多くの示唆を得ることができました。各看護学分野の臨地実習で、LTD-NPカンファレンスの実践を深め、学生の学びの深化と成長につなげていきたいと思います。

文責: 重年清香

◇3月開催の報告(企画・運営: 沖縄地区 担当者: 片桐君佳・知念築子)

第42回目は、テーマ「LTD話し合い学習法を1年生の看護倫理の授業に活用して」のもと、2022年3月26日(土)14:00～16:30にオンラインで開催しました。参加者は28名で、久留米大学の小松誠和先生が初参加され、会長の安永先生も参加してくださいました。





# JASCE

1月が臨地実習におけるLTDの活用(LTD-NP)で、今回もLTDについての実践報告となり、連続して参加された皆様には絶好の学びの機会になったと思います。

1回目のブレイクアウトセッションでは、自己紹介と今回の研究会で収獲したいことを述べ合ったことで雰囲気が一気に盛り上がりました。実践報告1は片桐君佳先生による「浦添看護学校における協同学習への取り組み」、実践報告2は知念榮子が「LTD話し合い学習法を1年生の看護倫理の授業に活用して」について発表しました。2回目のブレイクアウトセッションでは、実践報告への質問や次年度に向けた工夫や改善点を出し合い、その後、全体で質疑応答による共有を行いました。最後のブレイクアウトセッションでは、本日の学びについてリフレクションと COMPLIMENT を行いました。情報交換会でも引き続き活発なディスカッションが行われ、LTDを用いた授業について学びを深め合うことができました。

参加者からは、時間管理が適切で、構成にゆとりがあって焦ることなく意見交換ができた、ディスカッションがとて学びになった、安永先生からの

ご助言もありとても満足感の高い研究会であった、等の感想が寄せられました。実践報告に対しては、沖縄地区では看護学校5校が学びを共有したりすることができていて素敵だと思う。協同学習への導入・取り組みがよく分かった。LTDのアレンジの方法が分かり学びになった。LTDを学生のレディネスや学習目標に応じて使い分けることが分かった。自身のLTDの課題改善の糸口がつかめた。学びを次年度の授業に生かしたいと思った、等の多くの感想をいただきました。

実践報告を通して得られた今後の課題として、次の5点を見いだすことができました。①事例学習をLTD話し合い学習法を活用して行う際の事例選定への工夫。②LTDを実施する際の学生の活動時間の確保。③LTDの分割法を活用する。④学生相互の交流をもっと組み入れる。⑤教員のまとめで終わるのではなく、学生間のディスカッションを取り入れる。

今後も協同学習の実践を更にブラッシュアップして参ります。

文責：知念榮子

◇本研究会の2022年度の取り組み  
本研究会では4月に関東・中部・関西・沖縄の地区担当者会議を開催

し、2022年度の年間計画等を検討します。次回の研究会は5月28日(土)14:30～17:30、中京大学名誉教授の杉江修治先生をお迎えし「教師と協同」のテーマで開催します。会場はグランフロント大阪北館2階のアクティブスタジオで、久々の対面での開催となります。初参加希望の方は研究会代表：緒方巧(t-ogata@baika.ac.jp)までお知らせ下さい。

## きょう探研(きょうどう探究型授業づくり研究会)

◇第4回の研究会「きょう探研」の対話型研修会、通称(きょう探鍋)を2022年1月23日(日)14時～17時に開催しました。

今回のきょう探鍋には杉江修治先生をお迎えして、贅沢な鍋パーティとなりました。今回は参加者を2つのチームに分け、それぞれ杉江先生とお話して時間を確保しました。2回のブレイクアウトルームの後は、全体でフリートークを行いました。やはりここでもそれぞれ感じている疑問や熱い思いがたくさん出され、大いに盛り上がりました。疑問がスッキリ解決とはいきませんが、それぞれが考える手がかりとつかむことができたのではないかと思います。

### 【参加者の感想より】

・本日のように、子どもたちや学習者を良くしたい、という、目標が共有されるなかでの会合は、とても意義深いですね。

・わかったつもりでわかっていない、この振り回される感じの繰り返しは心地よいです。そんな授業や職場をつくりたいです。

・協同の価値という話し合いの中で、「いかに課題が明確であるのかという



# JASCE

点が大事だ」という杉江先生のお話に感銘を受けました。

◇なお次回の実施予定は未定です。もし「このような研修会があれば参加したい」、「このような内容(鍋の具材)でみんなで話としたい」というご意見ご要望がありましたら、遠慮なく下記の連絡先までよろしくお願ひします。

連絡先: 代表 中村哲也(常磐会学園大学 nani7272@yahoo.co.jp)



## (九州地域)

### 協同教育研究所「結風」主催

◇第55回・協同教育研究会を3月12日(土)13:00~15:40に開催しました。今回もZoomでの開催でした。研究会の内容は次の通りでした。

\*

#### 1. 挨拶・導入

(1) 担当: 安永悟(久留米大学)  
(2) 内容: 主催者からの挨拶と仲間づくり

#### 2. 講演「協同学習の技法: ケーガンストラクチャー」

(1) 担当: 関田一彦(創価大学)  
(2) 内容: ケーガンストラクチャーの基本的な考え方と具体的な使い方

#### 3. オンライン情報交換会

\*

今回は創価大学の関田一彦先生にケーガンストラクチャーについて基本

的な考え方と具体的な使い方について、丁寧に分かりやすく解説をいただきました。改めて、基礎基本の大切さを参加者の皆さんと再度確認する機会になりました。

参加者は38名でした。Zoomでの開催になってから、以前にも増して遠隔地からの参加者が多くなりました。今回も北は北海道から南は沖縄まで、全国からの参加がありました。

研究会終了後、15時から40分程度、情報交換会を開催しました。参加者は25名でした。皆さんが、協同学習に関して常日頃から感じている疑問など出しあい、全体で交流しました。

問合せ先: 協同教育研究会について、ご不明な点があれば、次までお願ひします。

協同教育研究所「結風」 office@yasunaga.me

## (全地域)

### 全国看図アプローチ研究会

◇「全国看図アプローチ研究会研究誌-11号」を公刊しました。今回は、

看図アプローチの実践校【長崎県央看護学校特集】です。

#### 掲載論文

1. 看図アプローチと看図作文の可能性-「発見」と「疑似体験」の授業-

[https://kanzu-approach.com/journal/kanzu-journal.vol.11\\_pp.3-13.pdf](https://kanzu-approach.com/journal/kanzu-journal.vol.11_pp.3-13.pdf)

(田中伸子)

2. 「持ち寄り型」ビジュアルテキストの誕生

[https://kanzu-approach.com/journal/kanzu-journal.vol.11\\_pp.14-19.pdf](https://kanzu-approach.com/journal/kanzu-journal.vol.11_pp.14-19.pdf)

(渡邊令子・山下雅佳実・鹿内信善)

3. 長崎県央看護学校「看図アプローチ研究会」の新たなはじまり

[https://kanzu-approach.com/journal/kanzu-journal.vol.11\\_pp.20-26.pdf](https://kanzu-approach.com/journal/kanzu-journal.vol.11_pp.20-26.pdf)

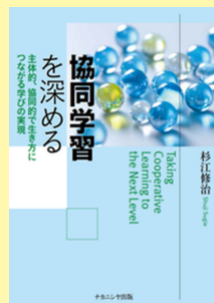
(山下雅佳実)

連絡先: 研究会事務局長 山下雅佳実 (a-yama@nakamura-u.ac.jp)

## 出版情報

### 協同学習を深める

—主体的、協同的で生き方につながる学びの実現—



『協同学習入門』(ナカニシヤ出版)が出版されてから約10年。講師として多くの学校を訪問されてきた著者の豊富な経験と、優れた実践の背景にある理論の両面から、協同学習の核心をつく82の提案というかたちで、実践づくりのポイントが明快にまとめられた待望の一冊である。協同学習に関心をもつ研究者や実践者が、協同学習の本質についての理解をさらに深めることに資する内容であり、とりわけ自らの個人的学習指導論をもっと鍛えたいという教師には、ぜひとも読んでいただきたい。杉江修治 著。ナカニシヤ出版。

今回は創価大学の関田一彦先生にケーガンストラクチャーについて基本